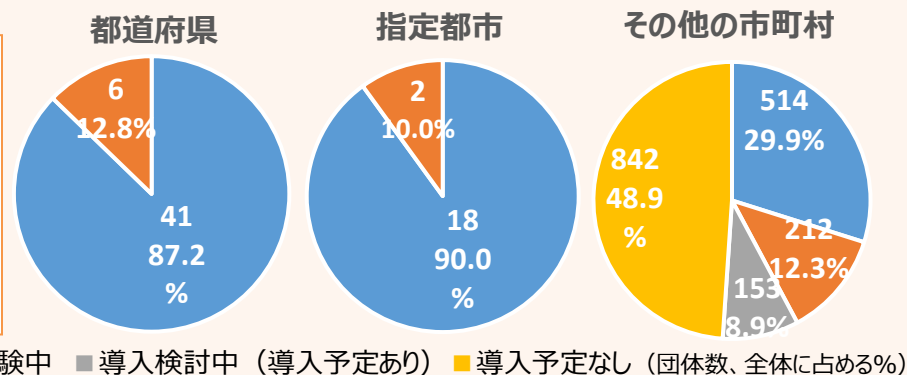


自治体におけるAI活用・導入ガイドブックの改訂について（概要）

1. 現状・課題

- 「自治体におけるAI活用・導入ガイドブック」(R4.6) において、**生成AIの利活用等に関する記述なし**。
- 自治体においては、①**生成AIの導入効果が不明**、②**生成物の正確性への懸念**、③**デジタル人材の不足等**といった課題がある。
- 自治体の**導入状況（R6.12末時点）**には、**ばらつき**がある。



2. ガイドブック改訂のポイント

- ① 生成AIは、デジタル技術による単なる作業の代替にとどまらず、仕事の質とスピードを大幅に高め、**飛躍的な業務効率化が期待**されることを、自治体における**具体的な生成AI利活用事例**（別紙1）とともに提示。
 - ② **生成物の正確性への懸念等に対する具体的な対応策・考え方**を提示。
 - ・生成AIの利用目的に応じて求められる正確性の水準が異なることを意識し、**生成物を人が確認するルールを設定**。
 - ・外国語翻訳などの用途によっては、**誤りが含まれる可能性があることを明示した上で、生成AIによる出力結果を表示**。
 - ③ 導入に当たっての留意事項として、**ガバナンス確保のための体制構築、要機密情報の取扱い、人材育成の考え方**を提示。
 - ・AI統括責任者（CAIO）を設置するなど、**AIの利活用・リスク管理における責任者を明確にする必要**。
 - ・入力した**要機密情報を学習させない仕組み**（オプトアウトの徹底）が重要。「地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」での**機密性情報の分類に応じた利用可能なパブリッククラウドサービスの範囲**を提示。
 - ・専門人材と一般職員の橋渡しを行う**DX推進リーダーの育成**が重要。実際に利用する職員を増やすことが重要であり、**即時利用可能なプロンプト集、職員のレベル別の研修**などに取り組むことが有効（小規模自治体における取組事例も提示）。
- 自治体が作成する**職員向けの生成AI利用ガイドラインのひな形**（別紙2）を別添として提示。

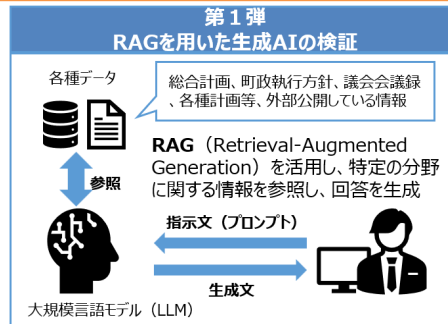
※「自治体におけるAIの利用に関するワーキンググループ」（座長：須藤修中央大学教授）における報告書（R7.7）の内容を反映

自治体における生成AIの利活用事例について

内部管理

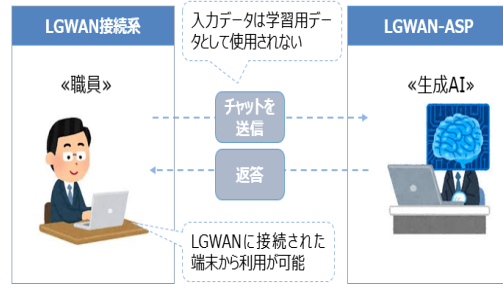
当別町（北海道）

- 従来型AIによる文字起こしツールと**生成AIによる要約を組み合わせ、議事概要を作成**
- **RAGを活用し、町の情報を参照した回答**を得る取組も実施



山陽小野田市（山口県）


- 生成AIが**市の条例や議会の議事録、例規集、市の広報等を参照**
- **答弁案や企画部門における事業概要の作成等**の幅広い領域での文書生成に生成AIを活用



西栗倉村（岡山県）

- ワークショップで回収した**住民の意見を生成AIに入力**
- 村の分野別の傾向や強み・弱みをまとめた**出力結果を議論のたたき台として活用**

グループA	注釈	グループB	注釈	グループC	注釈
オオサンショウウオが暮らしている	オオサンショウウオが暮らしている	小さな自然体	小さな自然体	（自然体） 人間が自然体と認識している	（自然体） 人間が自然体と認識している



1. 自然・環境

豊かな自然が大きな魅力である一方、それがもたらす課題や、活用しきれていないという意見が出ています。

強み	<ul style="list-style-type: none"> 川、水、空気がきれいであるという意見が多数見られます。 「百年の森林」というキーワードに象徴される豊かな森が存在します。 オオサンショウウオやヒメボタルといった希少な生き物が生息しています。 自然災害が少ないことも挙げられています。
弱み	<ul style="list-style-type: none"> 鹿、イノシシ、熊といった鳥獣害が深刻な問題として認識されています。 豊かな自然が観光面で有効に活用されていないという指摘があります。 ナラ枯れや花粉といった、自然由来の問題も挙げられています。

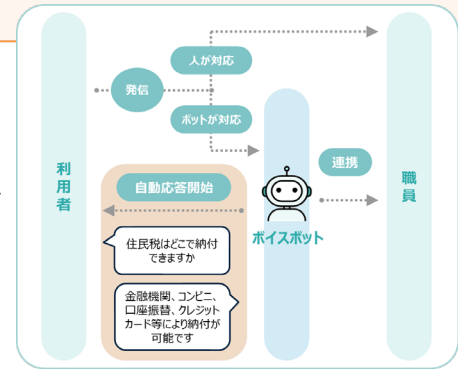
【傾向】

自然の「質の高さ」が強みとして強く認識されていますが、その自然との共存（獣害対策）や活用（観光）が弱みと捉えられており、強みと弱みが表裏一体の関係にあります。

住民サービス

神戸市

- 生成AIを活用したボイスボットが**住民からの税関連の電話にFAQをもとに自動応答**
- 回答できない時は職員に転送（実証実験中）



千葉県

- 生成AIを活用したチャットボットが**相談者の入力情報から福祉相談窓口を案内**
- 窓口では、福祉相談業務システムが**相談時の音声情報について、個人情報**を自動マスキングした上で**文字起こし**
- **職員が、情報の入力可否を確認後、生成AIシステムに入力し、要約に活用**

いつでも福祉相談サポット はじめがやります

こんにちは、私は千葉県の福祉に関する相談窓口を案内するチャットボットです。いつでもどんなお悩みでもお伺いします！

（大切なお知らせ）

■ご利用前に必ず利用規約と個人情報保護方針をご確認ください。安全なご利用のため、氏名/住所/電話番号などの個人情報を入力しないでください。

■このチャットボットではお悩みに応じた窓口を判断するために生成AIを活用しており、ご案内する窓口が適切でない場合があります。

長崎県

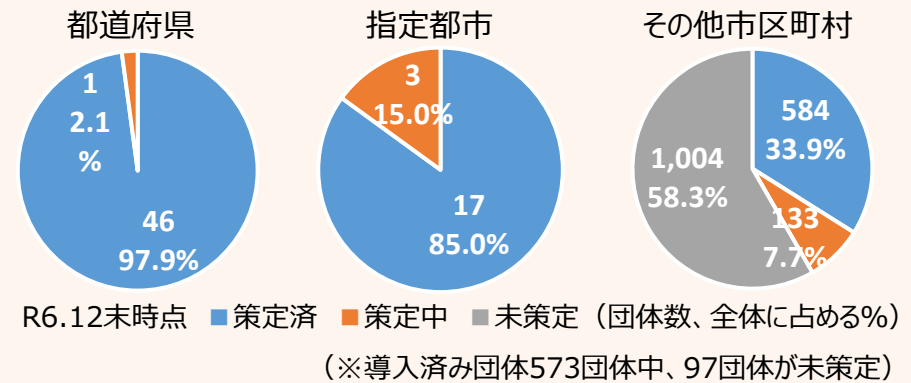
- 利用者が、日程・訪れたい場所等の**希望条件を生成AIに入力**
- **観光モデルルートを提案**
- 連携した宿泊予約サイトへの遷移も可能

2. グラバー園

4. ホテルモントレ長崎

自治体におけるガイドラインの策定状況、ひな形のポイント

- 生成AI未導入団体のほか、一部の導入済み団体(※)において **職員向けの生成AI利用ガイドラインを未策定**。
- デジタル庁の「生成AIシステム利活用ルール」（各省向けひな形）をもとに、先行自治体のルール等も参考に、以下の **職員向け生成AI利用ガイドラインの（ひな形）を作成**。
- **生成AIの導入にあたっては、同ガイドラインの策定を促進**し自治体における**生成AIの適正な利活用**を推進。



職員向け生成AI利用ガイドライン（ひな形）のポイント

- 生成AIシステムを利用する前に、情報政策担当課が指定する**研修を必ず受講**すること。
- 生成AIシステムの担当課室から説明された**利用方法（利用可能な業務の範囲、入力可能な情報を含む）、セキュリティ上の留意点、生成AIシステムの出力についての精度及びリスクの程度を理解**すること。
- 私用デバイスへ**私的にインストールした生成AIに職務上知り得た情報を入力してはならない**こと。
- 利用目的に応じて求められる正確性の水準が異なることを意識し、**生成AIシステムの出力結果を確認**すること。
- 安全性・公平性・客観性・中立性等に問題がないことを確認し、**問題のある表現は必ず加除修正**すること。
 （例：差別用語や倫理に反する表現が含まれていないこと、著作権等第三者の権利を侵害していないこと、第三者の生命・身体・財産等に危害や悪影響を及ぼすことがないこと等を確認する）
- 出力結果に偏見や差別を含む等の生成AIシステム特有の**リスクケースが発生した場合**、重要度・影響の程度等を踏まえ、別紙1「生成AIシステム特有のリスクケースの報告フォーム」に記載し、**速やかに適切な対応（検知内容の報告、対処、対応結果の報告）を情報政策担当課（特に重大なものはCAIO等）まで行う**こと。